

ふき指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5年

10月10日(金)5時間目

国語 「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる (6/6)」

本時のねらい

◎資料を基に、「文化を受けつぐ」ことに対して自分の考えをまとめることができる。(思考力・判断力・表現力)

本時のこだわり

○資料活用のタイミングでギャップを生み、新しい視点で「文化を受けつぐ」とはどういうことなのか、自分の考えをまとめます！

	学習活動	指導(○) 支援(▲) 評価(☆)
導入	1. 児童の振り返りをスライドで提示し、筆者の主張とともに「文化を受けつぐ」とはどのようなことか振り返る。 「文化を受けつぐ」ことについて、自分の考えを深め、表そう。	○要旨を想起させたり、前時の児童の振り返りを活用したりしながら、「文化を受けつぐ」とはどのようなことであったかを振り返る。 【視覚化・共有化】
展開1	2. 資料の範読を聞き、内容を整理する。 3. 和菓子を例に、新しい視点を取り入れた和菓子を考える。 4. 総合のテーマで、新しい視点を取り入れることができないか考える。	○グアム出身のビルさんが様々な苦労と努力をし、文化を受けついでいること、新しい視点を取り入れ、お客さんのことを考えながら商品を開発していることを押さえる。 ○新しい視点を取り入れた和菓子を考え、話型を活用し、ノートにまとめる。 【話型】 ▲スライドを用いてモデリングすることで、どの児童も考えをもてるようにする。 【モデリング】 ○総合で自分が調べているテーマに合わせ、その文化をより発展させていくために、未来に受けついでいくためにはどうすればいいかを、個人、ペア・トリオで考えさせる。 【焦点化】【選択型の学習】 ▲話型を提示することで、どの児童も書きやすい環境を整える。 【話型】
展開2	5. 考えを共有する。	○様々な考えに触れさせることで自分の考えを見つめ直すことができるよう、意図的な指名や、児童間対話を促す。 【共有化】
まとめ	5. 文化を受けつぐことについて、まとめる。	○要旨の内容、今回学んだことを含めて、「文化を受けつぐ」ことに対する自分の考えをノートにまとめさせる。 【話型】 ☆「文化を受けつぐ」ことに対して、自分の深まった考えを表している。(観察・発言・記述)

